

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成29年3月31日

事業名	公衆便所等清掃事業		
事業者の名称	株式会社 大道プロミネンス		
契約期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 (1年目)		
業務の概要	市内の公衆・公園等便所の清掃に関する業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 業務課	氏丸 善行	
評価対象期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	B	市民サービスの継続的な向上のため、清掃作業員どうしがお互いにチェックし、ノウハウを共有し合える仕組み作りに取り組んでいるほか、地域の高齢者を積極的に雇用するなど、地域活性化にも寄与している。 シチズンシップ(利用者意識)については、委託範囲の年次的拡大のなかで、さらなる向上が期待できることから、引き続き、適正な業務遂行に努められたい。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	業務実施計画を策定し、計画的に業務実施しているとともに、収支状況については良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	B	事故や緊急時に備えた連絡体制を万全に整備しているほか、定期的に研修を行うなど、情報管理も徹底している。 人員については、今後の委託範囲の拡大を踏まえ、より合理的な配置及び育成に努められたい。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<p>市内にある169箇所の公衆・公園等便所のうち、特に利用頻度の高い阪急武庫之荘駅前公衆便所とJR尼崎駅前南北公衆便所を中心とした、市域の南東部及び北西部のエリア内の計63箇所の便所を対象として、日々、清掃業務を行っている。</p> <p>また、対象施設数については年次的に拡大していく予定であり、平成29年度においては、市域の北東部に位置する38箇所が追加され、計101箇所の便所を対象に清掃を行っていくところである。</p>

取組んでいる事業内容等の評価
<p>日々の巡回清掃に加え、月2回程度、専用洗剤や機材等を用いた重点清掃を行っており、専門的な技術やノウハウを活かした清掃により、清潔レベルが向上しているものと評価している。</p> <p>また、日々の清掃業務に加え、施設内にフラワーポットなどを飾り付けて清潔感を演出するなど、これまでと違った取組により、公衆・公園等便所のイメージアップにも繋がっているものと評価している。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
B	<p>利用頻度に応じた効率的な巡回清掃及び専門的なノウハウを用いた重点清掃により、公衆・公園等便所の清潔レベルが向上しているものと高く評価している。</p> <p>今後は、利用者がわかりやすいシンボルマークへの統一や、施設内でのマナーアップポスターの掲出など、利用者意識が向上するための取組により、市民サービスのさらなる向上とシチズンシップのさらなる醸成を期待するところである。</p>

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2,3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成30年3月30日

事業名	公衆便所等清掃事業		
事業者の名称	株式会社 大道プロミネンス		
契約期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 3月31日 (2年目)		
業務の概要	市内の公衆・公園等便所の清掃に関する業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 業務課	氏丸 善行	
評価対象期間	平成29年 4月 1日 ~ 平成30年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	B	市民サービスの継続的な向上のため、清掃作業員どうしがお互いにチェックし、ノウハウを共有し合える仕組み作りに取り組んでいるほか、地域の高齢者を積極的に雇用するなど、地域活性化にも寄与している。 シチズンシップ(利用者意識)については、委託範囲の年次的拡大のなかで、さらなる向上が期待できることから、引き続き、適正な業務遂行に努められたい。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	業務実施計画を策定し、計画的に業務実施しているとともに、収支状況については良好である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	事故や緊急時に備えた連絡体制を万全に整備しているほか、定期的に社内研修を行うなど、情報管理も徹底している。人員については、今後の委託範囲の拡大を踏まえ、より安定した体制及び配置に努められたい。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<p>市内にある168箇所の公衆・公園等便所のうち、平成28年度においては市域の南東部及び北西部エリア内の便所を、平成29年度においては北東部エリア内の便所を加えた計100箇所を対象として、日々、清掃業務を行っている。 また、委託対象エリアについては年次的に拡大していくものであり、平成30年度においては市域の南西部エリア内の便所が追加され、計131箇所の便所を対象に清掃を行っていくところである。</p>

取組んでいる事業内容等の評価
<p>日々の巡回清掃に加え、月2回程度、専用洗剤や機材等を用いた重点清掃を行っており、専門的な技術やノウハウを活かした清掃により、清潔レベルが向上しているものと評価している。 また、日々の清掃業務に加え、施設内におけるフラワーポットなど飾り付けによる清潔感の演出や、シンボルマークの統一による利便性の向上など、これまでと違った取組により、公衆・公園等便所のイメージアップにも繋がっているものと評価している。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<p>利用頻度に応じた効率的な巡回清掃及び専門的なノウハウを用いた重点清掃により、清潔レベルが向上しているとともに、当初提案内容の着実な具現化により、利用者意識の向上に寄与しているものと高く評価している。 今後は、拡大対象となっているエリア内の便所を含めた清潔レベルの確保や施設内でのマナーアップポスターの掲出など、市民サービスのさらなる向上とシチズンシップのさらなる醸成を期待するところである。</p>

* 評価は、A~Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1~3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成31年3月30日

事業名	公衆便所等清掃事業		
事業者の名称	株式会社 大道プロミネンス		
契約期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 (3年目)		
業務の概要	市内の公衆・公園等便所の清掃に関する業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 業務課	氏丸 善行	
評価対象期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果		B	市民サービスの継続的な向上のため、清掃作業員どうしがお互いにチェックし、ノウハウを共有し合える仕組み作りに取り組んでいるほか、地域の高齢者を積極的に雇用するなど、地域活性化にも寄与している。 シチズンシップ(利用者意識)については、飾りつけ等の取組対象便所を拡大する等で、さらなる向上が期待できる。
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか		
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況		A	業務実施計画を策定し、計画的に業務実施しているとともに、収支状況については良好である。
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか		
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制		A	荒天時の対応を新たに定め、緊急体制を充実させたほか、定期的に社内研修を行うなど、情報管理も徹底している。人員体制についても、流動が少なく、安定した体制を築いている。
人員配置	合理的な配置であるか		
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
市内169か所の公衆・公園便所について、委託対象範囲を平成28年度に2/5、平成29年度に3/5、平成30年度に4/5へと順次拡大してきているが、安定的に業務を実施できており、さらなる清潔レベルの向上を追求している。

取組んでいる事業内容等の評価
日々の巡回清掃に加え、月2回程度、専用洗剤や機材等を用いた重点清掃を行っており、専門的な技術やノウハウを活かした清掃により、清潔レベルが向上しているものと評価している。 また、日々の清掃業務に加え、施設内におけるフラワーポットなど飾り付けによる清潔感の演出や、シンボルマークの統一による利便性の向上など、これまでと違った取組により、公衆・公園等便所のイメージアップにも繋がっているものと評価している。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	利用頻度に応じた効率的な巡回清掃及び専門的なノウハウを用いた重点清掃により、清潔レベルが向上しているとともに、当初提案内容の着実な具現化により、利用者意識の向上に寄与しているものと高く評価している。 マナーアップポスターの掲出など、市民サービスのさらなる向上とシチズンシップのさらなる醸成を期待するところである。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2, 3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。